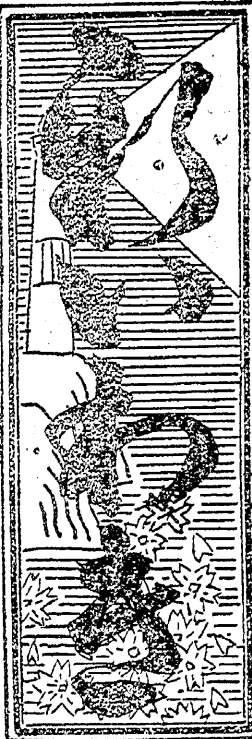


【刊夕】日八十二月三



石城郡各礦の鐵道納炭が主河の八萬噸其の他前年と...

鐵道納炭は七分下か

之でも五十萬圓の損

運動の爲め其所まで漕付る

らしい發表は來月十日頃か

石城郡各礦の鐵道納炭が主河の八萬噸其の他前年と... 務省に於て昭和六年度の購に於て變りがないらしい合... 入費を總體から二割減の豫計八拾萬噸に對して五拾餘... 算を組んだ其の影響で下落萬圓に上り全く切端詰る炭... するものと世聞されてゐる續によつては此の補填を何... のみでない

鐵道側が大體一割

減を主張されてゐるので各... 鐵共なきに經營難の折... 納一層苦境に陥るので在東... 京本社及び常磐炭礦聯盟... 本礦會が全力を擧げて本... 右の實現を

陳情の結果鐵道省

にありても炭礦側の現狀を... 酌み若干の緩和を見られる... 模様であつて七分程度位... での値下げに漕ぎつけ得... うかと傳へられてゐる而... て此の發表は來る

四月十日頃かと云

はれてゐるが之れによる地... 方炭礦の減收は昨年一噸當... り八圓六拾七錢であつた... 炭の卅五萬噸を筆頭として... 入山採炭（弊炭より一割以... 上高値）の

約十六

萬噸次に古

さる平野管下聯合檢閲にして未だ委員の選任も... 先立ち全員出動で規律訓練... その他の豫習をなすこと及... び同村湯の岳に設置しある... 消防基本林が過般の林野火... 災で約一町五反歩を焼失し... たので松苗一萬本を購入し... 右補植をなす事を決議した

小川と磐崎校

修卒業式

石城郡小川村尋常高等校では... 江田、下小川の兩分教場を... 合せて去る廿六日修卒業證... 書授與式を擧行した現在兒... 童六百名の内高卒六拾四名... 尋卒百五拾七名である又... 同郡磐崎村第一校では廿四... 日同様證書授與式を擧げた... が尋卒六拾四名で修業生は... 男二八〇女二七〇の合計五... 百六拾名である

値下運動を知らぬ顔

垣間見て高を繰る

電氣町營を目論見る平町

平町が東方電に對する電燈... 電方料の値下運動の効果が... 抄々しくないので一部有志... に電氣町營を目論まれ居... るも之れまた同町財政の現... 狀から容易でなく

希望達

成の抗策... 石は昭和六年度豫算に調是... 調査費として計上する二百... 五拾圓を同調査に當てる等... である此の方法は既に伏見... 町長の腹案にあるらしきも

同年度

の關係か

外交に出て岡崎市八幡町を入金したのみで行方不明... 田屋旅館に止宿し漆器六百となつたが此程愛知縣下に... 圓の注文を受けたと稱し送於て逮捕された同人の横領... 荷せしめ先分未拂四百圓をば見本品を合せ五百廿五圓... 合せる千圓へ五百七拾五圓に達し尙ほ前科者の由

納税表彰

教師に酬ゆる

記念

平町に於ける四年度國縣町... 税優良納税組合並に管理者... 對する表彰式は來四月一... 日の自治制記念日を以て町... 會議室に行はれるが該當組... 合九拾二管理者五名である

休職手當は本月限り

苦の磐炭に漸く活況

商店借も着々片付いて

常磐炭田の大會社磐城炭礦納炭卅五萬噸の値下げに於... ては數年來打續ける不況のて假りに卅萬圓の減收あり... 爲め姉妹關係の茨城縣千代... 田礦を廢山せるに引續いて... 石城郡磐崎村の小野田礦を... 斤先堀に任せ

平町に取つて良体験

新川改修の組合事業

平町の南東なる新川堤防を... 改修中である同町外二ヶ村... の水害豫防組合の事業を... 記二ヶ村が負擔を承へて... 中止或は延期を申込みたる... 八日平町々會

協議に

於て成るべた其の結果は昭和六年豫... 諸經費の現金賦課を避け算一萬百九圓に對して縣補を要すると

約三千八百拾圓を見込み關... 係區域から三千六百拾四圓... を以て充當すること而して... 夫役負擔の一反歩に對する... 一圓五拾錢を一圓に減額し... たが豫算の總額には異動な... く所記の事業繼續を滿場一... 致で

可決さ

永年に

大怪我

理費及び技手給の半減は當... 路者にとつて非常な痛棒で... あり水害豫防組合と稱する... の、如き水利組合等の實... 際と異なるものある關係か... 永年に 亘る提携は... 平町として深刻な體驗を受... けしめられたものと云はれ... てゐる

粹な合乗で

運轉臺から轉

石城郡内郷村の内町馬目武... 重（八）は廿九日午前一時... 頃數日前に平町字仲町佐藤... 殿から百五拾圓で求めた無... 號の自動車に同郡湯本町葛... 枝置屋葛屋高秋佐久間方... 抱藝妓若千代事佐藤輝子（... ）を運轉臺に乗せて内郷村... 湯本町間の傾城地内國道を... 疾走中突如アが閉いて前... 記若千代が車外に轉げ落ち... 負傷せるを最寄警備の手當... 負傷者は全治三週間

を要すると

産業

點燈養鶏 (三)

養鶏事業の

根本問題は

また拂曉點燈と反對に黄昏頃から夜の八時頃まで行ふものが薄暮點燈であつて更に朝夕を二分して行ふものを朝夕點燈と唱へ又更に一と晩全部を燈し放しにして置く終夜點燈等に別けられてゐるが要は何れも日照時から徒らに長きに失すれば害があつて益がないこととなる

拂曉點燈は鶏に充分な休息を與へて空腹を感じた頃に探餌せしめるのが有利である、朝寝坊の養鶏家には自動點燈器と云ふものもある、又朝夕との點燈は最も自然に近くなし得るけれども二回の點燈が少なからず手数を要するので薄暮點燈の方が廣く行はれてゐる何れにしても作業の都合上適當に施行すればよい

期間を云へば日照時間を十三時間乃至十四時間、夜間十時間乃至十一時間を見做として鶏の年齢及び健康状態等を充分に考慮して鶏の體量を減じ又は極度に疲労させ事のない程度に行はねばならぬ、又その期節は十月下旬から三月上旬頃までを適當とし開始當初は極く短時間例へば一時間未満の程度から之れを始める

◇破格の勉強で

歡迎される

静岡本場 大角園 特約 小笠銘茶

半谷商店

平大町若松病院隣

驚異的の効果を有する婦人薬

座薬 美神丸

内服薬 美神湯

婦人病に悩む方々に一度は實驗を勧む

町代理店 平町五丁目角 山野邊藥局

春物入荷 山澤

山澤 荷入物 春

伊呂波関天服店

貸切は？

親しみあるサービスを以つて知られたる!!

尼子タクシーへ

電六四〇番

主任 澤 正 路

模範 裁縫

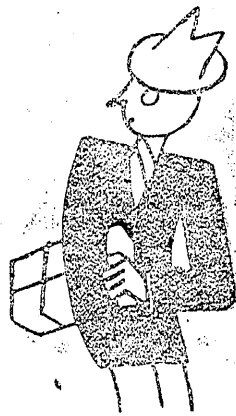
高島屋の洋服

平町駅前 電話三八六番

春着の御用意は

高島屋へ

新柄着荷



藤田女學校生徒募集

- (1) 本科 五十名
- (2) 裁縫専修科 百名
- (3) 師範科 三十名
- (4) 専攻科 二十名
- (5) 本科、裁縫科第二學年補欠 若干名

右希望者ハ至急願書提出ノコト詳細ハ本校宛學則請求セラルベシ 昭和六年三月

福島縣平町田町

文部大臣 認可 藤田女學校 電話三三八番

そばから

平町土橋 福泰 マルマン商店 電話四八九番

醫院開業

私儀今般左記場所に醫院を開業一般診察に従事致すべく候

平町新川端(釜屋新宅向)

難波醫院 醫學博士 難波 睦 電話五〇二番

内科一般 (午前診(午前九時より)午後往診) 但し急患は此限りに非ず

貨品の本位 山崎會社 御進物には 商品切手

味噌醬油 正宗 山崎會社 電話 釀造部 二七七番 營業部 一〇番



精幸堂

チヨイナ〜はど〜から流る精幸堂 時計修繕コ〜はまの音チヨイナ〜

學生用カバン 14袋より 總草製ランドセル 98袋より

各種學生帽

ヤルツ

〇四一電・四平

第三回 産婆看護婦 生徒募集

一 卒業年限 兩科ヲ通ジテ一ケ年

一 入學資格 高等小學卒業又ハ同等以上ノ學力有ル者へ無試驗入學ヲ許ス

一 申込期間 四月八日に

平町一丁目 (電話二五七番)

石城 産科看護婦學校 校長 應崎千代

山崎會社 貨品の本位

味噌醬油 正宗 山崎會社

電話 釀造部 二七七番 營業部 一〇番